



集団救急事故救助救護訓練

9月5日(水)、富田のホームセンターの駐車場で、「集団救急事故救助救護訓練」が行われました。この訓練は、塩谷広域行政組合消防本部が主体となり、県消防防災航空隊、塩谷郡市医師会、矢板警察署、市消防団、市女性防火クラブ、塩谷広域災害応援協議会などと合同で実施されました。

訓練は、トラックが乗用車に衝突し、歩行者を次々とね、多数の負傷者が発生したと想定して行われました。事故車からの負傷者の救助や医師・消防隊員による負傷者のトリアージ*などを行いました。また、重傷者をドクターヘリや防災ヘリで病院まで搬送する訓練も行われ、現場は緊張感に包まれていました。

※トリアージとは、人材・資源の制約の著しい災害医療において、最善の救命効果を得るために、多数の傷病者を重症度と緊急性によって分別し、治療の優先度を決定すること。



全国大会で5位

8月25日(土)、東京武道館で、文部科学大臣杯第12回全日本少年少女空手道選手権大会が行われ、矢板市空手道連盟に所属する齋藤一聖君(片岡小4年)が見事5位入賞を果たしました。

県予選から順当に勝ち上がり、今回の全国大会では、優勝した選手に負けてしまった齋藤君ですが、「来年は、基本に立ち戻り、精神面をもう一度鍛え直して、優勝できるように頑張っていきたい。」と力強く話してくれました。



大好評の歴史講座

9月1日(土)、片岡公民館で、歴史講座が開催されました。今年は、「平清盛」をテーマとし、平安時代から鎌倉時代までの歴史を9回に分けてひも解いていきます。講師は、地元の郷土史にも詳しい新井正義先生。第4回目のこの日の講座では、保元の乱から武士が台頭してくるまでの様子をユーモアを交えながら、分かり易く話してくれました。定員を大きく上回るこの人気講座。

今後は、市外の視察研修などを行い、理解をさらに深めていくとのことでした。



栃木県公衆衛生大会 大会長表彰受賞

9月7日(金)、「矢板市健康づくりみどりの会」が、栄養改善に対する活動が高く評価され、第52回栃木県公衆衛生大会において大会長表彰を受けました。矢板市健康づくりみどりの会は、昨年、創立30周年を迎え、設立当初から健診の結果説明の際に減塩活動や、地区で行う調理実習の参加、市の健康まつりでの減塩みそ汁の試食、外部講師を招き講演会を実施するなど、さまざまな活動を行っています。代表の福島会長は、「現在59人の会員がいます。皆とさらに地域に根づいた活動をしていきたい。」と力強く話してくれました。



サッカー天皇杯予選 県代表出場

8月26日(日)、栃木トヨタカップ第17回県サッカー選手権大会決勝戦が、県グリーンスタジアムで行われ、矢板市のヴェルフェたかはら那須(関東リーグ1部)が2-1で栃木ウーヴァFC(JFL)に逆転勝ちし、3年ぶり2度目の優勝を飾りました。ヴェルフェは格上の相手に、0-1から、逆転での勝利を修め見事、県代表の座を手に入れました。

8月31日(金)に市長を表敬訪問し、活躍を誓ったヴェルフェの選手でしたが、9月1日(土)に開催された第92回天皇杯全日本選手権大会では、惜しくも千葉県代表の柏レイソルユースに敗れてしまいました。



来年も元気につつじが咲くように

9月8日(土)、八方ヶ原の大間々で、レンゲツツジの枯れ枝除去作業が行われました。秋の晴天にも恵まれたこの日の作業には、約50人のボランティアが参加。作業の手順などの説明を受けた後、早速のござりて枯れた枝を取り除く作業を行っていました。参加者からは、「矢板の大切な観光資源であるこのレンゲツツジを、これからも守っていきたい」と話していました。



今年の大間々のレンゲツツジ